

令和7年度 大阪高等学校春季テニス大会

二次予選

日 時	令和7年4月12日(土) 男女単複 令和7年4月13日(日) 予備日
試合開始	男女シングルス 9時00分 男子ダブルス NB 12時15分 女子ダブルス NB 10時45分
出席確認	男女シングルス 8時45分 男子ダブルスのみの者 12時00分 女子ダブルスのみの者 10時30分
場 所	鶴見緑地庭球場

- 参加選手は、大阪高体連テニス専門部の規定に則ったテニスウェアに更衣のうえ、出席を大会本部に届け出ること
- ダブルスは、二人揃って出席を届け出ること
- 原則、顧問の付き添いを必要とする
- 大会注意をよく読んでおくこと
- 審判はセルフジャッジで行う
- ボールは当日本部で受け取ること

大会注意

1. 試合開始と進行

- 2次予選および本戦は午前9時より試合を開始する。
- 試合はオーダーオブプレーにより、原則としてドロー番号順に進行する。
(前の試合が終了すればすぐに試合に入ること。5分以内に入らない場合は、失格とすることがある。)
- ジャッジは、会場レフェリーが権限として行う。

2. 出席の届け出

- 各会場とも試合開始時間の15分前までに、本人が(ダブルスでは二人揃って)更衣の上、大会運営本部デスクに出席を届け出る。届いていない場合は、棄権とみなす。
- 原則、顧問の付き添いを必要とする。
- 本戦は、顧問または学校職員と一緒に出席を届け出る。
- 本戦に受け入れられたプレイヤーは、ウィズドロー(出場取り消し)またはノーショー(無断欠場)に関して、理由書を添えて、文書(FAX可)で主催者に通知しなければならない。病気または怪我の場合は、ドクターの診断書を主催者に提出しなければならない。

3. 試合について

- 服装は、JTAテニスルールブックの服装規定による。不適切なウェア(長ズボン、ロゴなど)は、更衣を求める。更衣しなければ、失格とすることがある。
- 靴は必ずテニスシューズのこと。
- コート内でのウォームアップはサービス4本とする。(会場レフェリーの指示に従うこと)
- 全試合でノーレットルール(サービスのノーレット)を採用する。
- 全試合セルフジャッジとする。
(コートの自分のサイドの判定は、プレイヤーが正しく行うこと。)
- シングルスに限り、ボールパーソン1名(双方から1人ずつ)を認める。
- プレーは連続的に行われなければならない。MTQは筋ケイレンでは認められない。
- 試合が終了すれば、勝者はすぐに結果を本部に報告すること。(5分以内に)
- 時間の管理は、ロービングアンパイアおよび会場レフェリーが行う。
- 不適切なジャッジは、会場レフェリーが権限としてオーバーコールする。
- 一人が連続して試合をしなければならないときの休憩はレフェリーが考慮、判断する。
- アウト、インの判定を巡って相手側コートへ行くことは認めない。
- 試合中ラケットのガットが切れた場合、ラケットを交換してもいいし、そのまま最後まで試合を続行してもかまわない。(ストリングロゴは、禁止)

4. 持ち物とゴミについて

- 持ち物は各自が責任を持って管理すること。大会会場の美化には最大限協力しなければならない。
- ゴミは必ず各自で持ち帰ること。

5. その他

- 試合開始後、試合に出場している学校や個人がコート进行を借りて練習することは禁止する。
- 試合において不正があった場合、また、器物破損などの暴行を働いた場合はその生徒の所属する学校を対象に処分を行う。
- レフェリーや会場の係りの指示・注意を守り、テニスプレイヤーにふさわしい行動をとること。
- JTAテニスルールブックなどにより、日頃からルール・マナーの研鑽に努めること。
- 大会中の撮影行為について、次の2点に注意すること。
 - ① 大会会場において撮影する場合、必ず相手側にも了承を得るなどして、勝手に撮影をしない。
 - ② 了承を得て撮影された場合も、本人の許可なくSNSなどにあげる行為を禁止する。